

【週刊タバコの正体】

Vol.30 第4話～第7話

2015/02 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 30

(No. 414) 第4話 タバコはかっこいい？

一ますます人目を避けて喫煙しないといけなくなる...

昨年、君たちに答えてもらったタバコに関するアンケートの事を覚えてくれているでしょうか。その結果によると「タバコを吸うのは、かっこ悪い」と思う人が57%もいました。対して「タバコを吸うのは、かっこいい」と感じている人は5%しかいませんでした。じつは、ある会社が行ったタバコに関する意識調査(下図)でも同じような結果になっています。

この調査では、自分自身がタバコを吸っていない人で「タバコはかっこいい」と思っているのが男性で8.0%、女性で5.2%でした。この結果は君たちの意識とほぼ同じで、ごく少数です。

(No. 415) 第5話 日本のタバコは安い

一世界の中では「日本のタバコは安い」...

日本では、ほとんどのタバコが1箱(20本入り)430円で販売されています。この値段を聞いて「安い」と感じる人は少ないはずですが、一旦ニコチン依存症にかかってしまうと、「高い」と思いながらもタバコを買い続けなければなりません。毎日のように430円を払い続けるのは、タバコを吸わない人や興味のない人にとって「もったいない」と感じるでしょう。

ところで、このタバコの価格の大半は税金だと言うことを知っていますか。下図に示すように税金の割合が6割を超えています。つまり430円のうち270円以上も税金を支払っている事になるのです。タバコは「生活必需品」ではなく、好きな人だけが必要な「嗜好品」という扱いで課税されているのですが、それにしてもその税率が高いのはなぜなのでしょう。

(No. 416) 第6話 タバコの経済損失

一タバコは、その税収を上回る損失を生んでいる...

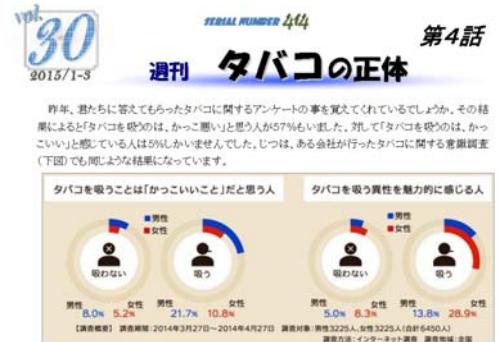
前回、430円のタバコには270円の税金が含まれている事を知ってもらいました。一箱あたり270円ですが、1年間で約2500億本も売れているので、その総額は膨大な額になります。

左のグラフを見れば毎年、総額20,000億円(2兆円)を超える税金が国や地方自治体の収入となっているのがわかりますよね。こんなに税収があれば、世の中の暮らしを良くするために使われているはずですが。

(No. 417) 第7話 風味を味わえない

一ニコチン依存症はおいしい食事とも味わえない...

タバコには200種類以上の有害物質と60種類以上の発ガン物質が含まれています。たとえば、「ニコチン」はその代表的な物質ですが、じつは「毒物及び劇物取締法」という法律で「毒物」に指定されているほど、人体に有害な物質なのです。喫煙者は、そんな物質を毎日数時間おきに吸い込んでいるのですから、身体にダメージを受けないわけがありません。ところが、毎日のダメージの度合いが小さいので本人たちには自覚症状がありません。その証拠に、タバコを吸うと味と匂いの感じ方、つまり「味覚」と「嗅覚」が鈍感になっている事も気付いていないはずですが。



この調査では、自分自身がタバコを吸っていない人で「タバコはかっこいい」と思っているのが男性で8.0%、女性で5.2%でした。この結果は君たちの意識とほぼ同じで、ごく少数です。ところが自分自身が喫煙者の場合は「タバコはかっこいい」と思っている人は少し多くなっています。また、「タバコを吸うのが魅力を感じる」と思う人も、タバコを吸わない人より喫煙者の方が多くなっています。

自分自身がタバコを吸わなければ、タバコに魅力を感じないのは当然ですが、喫煙している人のなかでも「タバコはかっこいい」と思っている人は男性で21.7%、女性で10.8%しかいません。と言うことは喫煙者たちでさえ、その多くは「タバコはかっこいい」と思っていないのです。

今から50年以上も昔、有名な俳優がタバコを吸うテレビCMが数多く流れ、ドラマや映画にも喫煙シーンが普通に登場していました。そんな時代に成人した君たちの親世代の人たちには「タバコはかっこいい」というイメージが植え付けられた歴史があります。しかし、親世代ではタバコのCMは一切流れる事はなく、喫煙シーンを見ることも少なくなりました。そのお陰で、「タバコはかっこいい」と思う人はほとんど減っているわけですね。

「タバコはかっこいい」時代はタバコの歴史として残りますが、親世代の人々に対する意識をみると、これから将来にかけてそんな時代が来ることは無いでしょう。



右のグラフを見れば毎年、総額20,000億円(2兆円)を超える税金が国や地方自治体の収入となっているのがわかりますよね。こんなに税収があれば、世の中の暮らしを良くするために使われているはずですが。しかし世間、喫煙者にとっては、自分の健康が損なわれ続けているわけなので、いずれ治療が必要な病気になり、治療期間中は働けなくなります。そんな人が増えると日本全体としては労働力を損失することになるよ。その治療に必要な医療費が膨れあがります。それ以外にも、タバコを吸わなければ発生しないと思われる火災による損失や、勤務時間中の喫煙時間のロスなどを合計すると、左図のように「損失」の方がはるかに大きくなっているのです。

つまり、日本全体でみれば兆円の収入に対して6兆円の損失なので、毎年4兆円の赤字を出しているのと同じ状況なのです。収入の倍以上の赤字を出してまでタバコを売る必要はあるのでしょうか。



毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_2011.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

